

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年12月17日(2020.12.17)

【公開番号】特開2019-156779(P2019-156779A)

【公開日】令和1年9月19日(2019.9.19)

【年通号数】公開・登録公報2019-038

【出願番号】特願2018-46759(P2018-46759)

【国際特許分類】

C 07 C 17/25 (2006.01)

C 07 C 21/18 (2006.01)

B 01 J 31/02 (2006.01)

C 07 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 07 C 17/25

C 07 C 21/18

B 01 J 31/02 102Z

C 07 B 61/00 300

【手続補正書】

【提出日】令和2年11月5日(2020.11.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

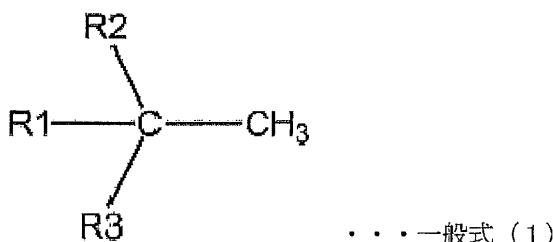
アルカリ性水溶液および非水溶性溶媒を含む液相と、

前記非水溶性溶媒に可溶である一般式(1)で示されるハロゲン化アルカンを含む気相と、

を相間移動触媒の存在下で接触させ、塩化水素を脱離させる、接触工程を含む、

アルケンの製造方法。

【化1】



(一般式(1)中、R1は塩素原子を示し、R2は、水素原子、塩素原子、または、炭素原子との間の結合解離エネルギーが塩素原子よりも大きいハロゲン原子を示し、R3は、塩素原子、炭素原子との間の結合解離エネルギーが塩素原子よりも大きいハロゲン原子、または、任意のハロゲン原子で置換されてもよい炭素数1以上3以下のアルカン基を示す。)

【請求項2】

前記接触工程において、前記液相を攪拌する、請求項1に記載のアルケンの製造方法。

【請求項3】

前記接触工程は、反応生成物である気体状の上記アルケンを生成する工程である、請求項1または2に記載のアルケンの製造方法。

【請求項4】

前記非水溶性溶媒は、アルコール系の非水溶性溶媒、エーテル系の非水溶性溶媒、脂肪族炭化水素系の非水溶性溶媒および芳香族炭化水素系の非水溶性溶媒からなる群から選択される非水溶性溶媒である、請求項1～3のいずれか1項に記載のアルケンの製造方法。

【請求項5】

前記非水溶性溶媒は、トルエン、イソプロピルベンゼンおよびオルトジクロロベンゼンからなる群から選択される非水溶性溶媒である、請求項1～4のいずれか1項に記載のアルケンの製造方法。

【請求項6】

前記ハロゲン化アルカンは、1,1-ジフルオロ-1-クロロエタンであり、

前記接触工程は、1,1-ジフルオロエチレンを生成する工程である、

請求項1～5のいずれか1項に記載のアルケンの製造方法。